

# 湿潤療法で手当しました!

## ●湿潤療法とは...

最近注目されているキズの処置方法です

これまでのキズの手当は「洗って消毒して乾かす」というのは一般的でしたが、最近①キズは消毒しない②キズは乾かさない、という手当の方が、痛みが少なく、早くきれいに治るといって医学的な考えが出てきています。テレビなどでもよく放映されているので、知っている人もいるでしょう。



## 湿潤療法の「ご説明

### 1. キズの治り方

皮膚には自然治癒力があります。皮膚が傷つきその機能が低下すると、「修復せよ」という指令が出て、新しい細胞がどんどん作られ、再生・修復されていきます。しかし消毒してしまうと、その修復に必要な成分を壊してしまいます。修復に必要な成分は、体液（浸出液）の中に含まれています。体液に含まれる白血球やマクロフ

### 2. 湿潤療法でのキズの手当の仕方

アージなどが、バイキンと戦ってくれるのです。

- ①まずよくよく、水洗いします。砂や小石はガーゼや綿棒などで、取り除きます。
- ②出血部位を清潔なガーゼやハンカチ等で圧迫して止血します。
- ③キズに専用の被覆材（おおうもの）を貼り、乾かさなないように密封します。

●被覆材はどんなもの？

【専用のもの】キズパワーパッド  
ドラッグストア等で購入できますが、値段は高いです。

## ●膿（うみ）と体液（浸出液）の見分け方

	膿	体液
色	黄色～緑色	透明で薄黄色
形態	ドロツとしている	サラサラ
臭い	あり	なし
発見時期	キズができて3～4日後	キズができて数時間～1、2日後
痛み	ズキズキした痛みが続く	なし

※キズの経過をみて、膿のようであれば、保健室に見せに来てね。キズの周囲を押してみても痛みが結構あるようなら、病院を受診してみてね。

【応用できるもの】ラップ  
どこの家庭にもあるもので代用できます。ラップをちようど良い大きさに切り、初回はワセリンなどの皮膚保護剤をぬってキズにはります。固定できるように、周囲をサージカルテープなどでとめます。体液が十分に出てくるようになれば、ワセリンを使わなくてもよいです。

④体液（浸出液）の状態などを確認しながら、必要に応じて被覆材を貼り替えながら、経過観察します。

### 3. 湿潤療法はどんなキズの時に行うか

- ①包丁などで切れた、キズ口が直線的な浅い切りキズ
- ②皮膚の表面の軽いすりキズ
- ③軽いやけど
- 何かが刺さった、出血が多い、動物に咬まれた、深い傷、広範囲の傷等は病院での手当が必要です。

### 4. 被覆材を貼り替える時の確認事項

- ①膿やはれ、赤みがないか確認しましょう。
- ②キズを水道水で洗いましょう。キズ口を清潔にするともに、ばんそうこうのテープによるかゆみやかぶれを防ぎます。
- ③無理にひっぱったりして、キズの周りの皮膚を傷つけないようにしましょう。

## 保健室からお願い

- 帰宅したら、湿潤療法で手当したことを、お家の方に伝えてね。
- 自宅での継続の手当を、できる範囲でやってみてね。
- 毎日ではなくて良いので、キズの治り具合を保健室に見せに来てね。
- 不安なことや質問があったら、遠慮しないで保健室に来てね。